

IV 一般選抜（前期日程・後期日程）

1. 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目（38～55ページ参照）を本学が指定した方法で受験した者としてします。

なお、本学では大学入学共通テストの過去の成績は利用しませんので、本年度行われる大学入学共通テストを必ず受験してください。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの（※1）
 - カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者
 - キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの（※2）
- ※1 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2023年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。
- ※2 出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので、84ページ「ⅩⅡ 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

(注) 医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は、上記の出願資格に該当し、かつ、「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります（募集については調整中）。

なお、地域枠（一般）に出願する者は、一般枠（通常の一般選抜）を併せて出願することができます（募集については調整中）。

- ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2023年3月までに卒業見込みの者
- ② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者
- ③ 将来、香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者

※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。

2. 出願上の注意事項

（1）併願について

志願者は、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※詳しくは公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照してください。

（2）学校推薦型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の学校推薦型選抜に合格している者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（3）総合型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の総合型選抜に合格している者は、当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（4）前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、2023年3月15日（水）までに入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても、その合格者とはなりません。

（5）学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は妨げません。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

- ・ 総合点により合否を判定します。
- ・ 教育学部学校教育教員養成課程では、31ページのとおり第2志望までコースの志願ができます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。
- ・ 創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では、全コース（7コース）に志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは、造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかに志願することができます。
- ・ 医学部医学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え、地域枠（一般）では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。
- ・ 医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。
- ・ その他、各学部での選抜方法等については、〔1〕大学入学共通テストの利用教科・科目等、〔2〕個別学力検査の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入学共通テスト及び個別学力検査の取扱いについて》

- ・ 本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は、個別学力検査を受験することができませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で『英語』を選択する受験者は、必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。

両方を受験していない場合は、個別学力検査を受験することができません。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

- ・ 本学が課している大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科・科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は、別表（38～55ページ参照）のとおりです。

大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕 個別学力検査の実施教科・科目等

個別学力検査の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表（38～55ページ参照）のとおりです。

出願後は、選択した科目を変更することはできません。

〔3〕 2段階選抜（医学部医学科，臨床心理学科）

医学部医学科及び臨床心理学科においては，入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に2段階選抜を実施します。

学科	日程	前期日程
医 学 科		約4倍
臨床心理学科		約5倍

第1段階選抜は，大学入学共通テストの成績（前期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第1段階選抜の合格者を対象に個別学力検査を実施し，最終的な合格者を決定します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入学共通テストの配点等													
学科名等	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等	
						①	②	①	②				
学校教育教員養成課程	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100		100	100	(50) (50) └───┬─── 100	100	200	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合		200	100		100	100	/	100 100	200	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合		200	100 200	100	100	100	100	(50) (50) └───┬─── 100	/	200	900	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(2)を選択した場合		200	100 200	100	100	100	100	/	100	200	900	
	Ⅴ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(3)を選択した場合		*100 *100	200	*200	100	100	(50) (50) └───┬─── *100	*100	200	900	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。	
			100 100 200	200	100 100 200	100	100	*100	*100	200	900	理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したのものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
Ⅵ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(4)を選択した場合	200	*100 *100 *200	200	*100 *100 *200	100	100	/	*100 *100	200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。		

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等									
学科等名	区分	国語	数学	理科	外国語	実技	小論文	配点合計	
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200		200	
	小学校教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200		200	
		後期日程						200	200
	中学校教育コース	前期日程	A系	*200		*200			200
			B系		*200	*200			200
C系							200	200	
	後期日程						200	200	

【法 学 部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英語』 } から1教科 〔1教科1科目〕
		地歴	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) から1又は2科目		
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目		
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目		
後期日程	理	(『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』) から2科目又は (『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目	その他	小論文	
	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕			

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目(2科目の合計)	}	ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)
イ. 基礎を付さない科目		

 また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅷの8通りです。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等		
						①	②	①	②					
(昼間コース) 法学科	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合	前期日程 後期日程	200	100	100	100	100	(50)	(50)	100	200	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100			100	200	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)	(50)	*100	200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	100	100	100	100			*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。
	Ⅴ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合		200	200		100	100	(50)	(50)	100		200	900	
	Ⅵ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200		100	100			100		200	900	
	Ⅶ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200		100	100	(50)	(50)	*100		200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。
	Ⅷ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	200		100	100			*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等					
学科等名	区分	数学	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 法学科	前期日程	*300	*300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	『国語』	必須	外 『英語』
		地歴 公民 理	(「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」) (「現社」, 「倫」, 「政経」, 『倫・政経』) (1) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (3) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目並びに(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (4) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から2科目	から2科目 (理科で(1) 又は(3)を選 択する場合 は3科目)	[1教科1科目]
	後期日程	数	(「数I」, 『数I・数A』)	から1科目	その他 小論文
		外	(「数II」, 『数II・数B』, 『簿・会』『情報』)	から1科目	
		外	(「英」, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目	
			[4教科6科目又は5教科6科目(理科で(1)又は(3)を選択 する場合は4教科7科目又は5教科7科目)]		

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数I・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入学共通テストの配点等」参照)
 - 地歴、公民から1科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の1科目	} ア～ウのうち高得点順に2科目(イを用いる場合は3科目)
イ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)	
ウ. 理科の基礎を付さない科目	

 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、アの成績と、イ、ウのうち高い方の成績を用います。
 - 地歴、公民から1科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の1科目	} ア、イのうち高得点のものを1科目	} 2科目
イ. 理科の第2解答科目		
ウ. 理科の第1解答科目・・・1科目		
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(1)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目	} イ、ウのうち高得点のものを	} 2科目
イ. 地歴、公民の第2解答科目		
ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)		

 1科目(ウを用いる場合は2科目)
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(2)により1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目	} イ、ウのうち高得点のものを1科目	} 2科目
イ. 地歴、公民の第2解答科目		
ウ. 理科の基礎を付さない科目		
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の2科目の合計	} ア～エの各合計点のうち 最も高いもの
イ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付した科目(2科目の合計)の合計	
ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付さない科目の合計	
エ. 理科の3科目の合計	
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の2科目の合計	} ア～ウの各合計点のうち最も高いもの
イ. 理科の2科目の合計	
ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の第1解答科目の合計	
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 前期日程の大学入学共通テストについては、各教科に傾斜配点をした配点A～配点Cを計算し、最も高得点の配点型を利用します。
- 5 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のI～XIの11通りです。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
(昼間コース) 経済学科	I 地歴、公民 は選択せず、 理科は(3)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300		100	100	(50)	(50)	100	200	理科の(3)で同一名称を含 む出題科目同士を選択し た場合は、科目数不足と なり、不合格となります。	
			配点B	200		150	150			200	200		
			配点C	200		100	100			100	300		
		後期 日程	200		100	100	(50)	(50)	100	200	800		
	II 地歴、公民 は選択せず、 理科は(4)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300		100	100			100	100	200	
			配点B	200		150	150			200	200		
			配点C	200		100	100			100	300		
		後期 日程	200		100	100			100	100	200	800	
	III 地歴、公民 で指定した科 目から1科目 選択し、理科 は(1)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300	100	100	100	(50)	(50)			200	
			配点B	200		150	150					200	
			配点C	200		100	100					300	
後期 日程		200	100	100	100	(50)	(50)			200	800		
IV 地歴、公民 で指定した科 目から1科目 選択し、理科 は(2)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300	100	100	100				100	200		
		配点B	200		150	150					200		
		配点C	200		100	100					300		
	後期 日程	200	100	100	100				100	200	800		
V 地歴、公民 で指定した科 目から1科目 選択し、理科 は(3)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300	*100	100	100	(50)	(50)		*100	200	*印を付したのものについ ては、高い順に2つの成 績を uses。ただし、 理科の(3)で同一名称を含 む出題科目同士を選択し た場合は、地歴、公民の 成績と、「理科①」、「理 科②」のうち高い方の成 績を uses。	
		配点B	200		150	150				*100	200		
		配点C	200		100	100				*100	300		
	後期 日程	200	*100	100	100	(50)	(50)		*100	200	800		
VI 地歴、公民 で指定した科 目から1科目 選択し、理科 は(4)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300	*100	100	100				*100	*100	200	*印を付したのものについ ては、理科②の第1解答 科目の成績と、「地歴、 公民」、「理科②」の第2 解答科目のうち高い方の 成績を uses。
		配点B	200		150	150				*100	*100	200	
		配点C	200		100	100				*100	*100	300	
	後期 日程	200	*100	100	100				*100	*100	200	800	
VII 地歴、公民 で指定した科 目から2科目 選択し、理科 は選択しな かった場合	前期 日程	配点A	300	100	100	100	100				200		
		配点B	200		150	150					200		
		配点C	200		100	100					300		
	後期 日程	200	100	100	100	100				200	800		
VIII 地歴、公民 で指定した科 目から2科目 選択し、理科 は(1)を選 択した場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	(50)	(50)		200	*印を付したのものについ ては、地歴、公民の第1 解答科目の成績と、「地 歴、公民」の第2解答科 目、「理科①」のうち高 い方の成績を uses。	
		配点B	200		150	150				*100	200		
		配点C	200		100	100				*100	300		
	後期 日程	200	*100	*100	100	100	(50)	(50)		200	800		

※次ページに続く

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民		数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等	
						①	②	①	②				
(昼間コース) 経済学科	IX 地歴、公民 で指定した科目 から2科目 選択し、理科 は(2)を選択し た場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	/	/	*100	200	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150				200	
			配点C	200			100	100				300	
		後期日程	200	*100	*100	100	100	/	/	*100	200	800	
	X 地歴、公民 で指定した科目 から2科目 選択し、理科 は(3)を選択し た場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	(50)	(50)	*100	200	*印を付したのものについては、「地歴、公民の第1解答科目と理科①の成績」、「地歴、公民の第1解答科目と理科②の成績」、「地歴、公民の2科目の成績」、「理科①と理科②の成績」のうち高い方の成績を用います。ただし、理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150	*100	200			
			配点C	200			100	100	300				
		後期日程	200	*100	*100	100	100	(50)	(50)	*100	200	800	
	XI 地歴、公民 で指定した科目 から2科目 選択し、理科 は(4)を選択し た場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	/	/	*100	*100	200
配点B			200	150			150	200					
配点C			200	100			100	300					
	後期日程	200	*100	*100	100	100	/	/	*100	*100	200	800	

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等				
学科等名	区分	外国語	小論文	配点 合計
(昼間コース) 経済学科	前期日程	200		200
	後期日程		300	300

【医学部】（医学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜		
医学科	前期日程	国	『国語』	必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』	必須	約4倍
		地歴 公民	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) (『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)	から1科目	理	(『物基・物』, 『化基・化』, 『生基・生』)	から2科目	
		数	『数Ⅰ・数A』	必須	外	『英語』	必須	
		理	(『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) (『物』, 『化』, 『生』)	から1科目 から2科目	その他	面接	(3教科4科目)	
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目 〔5教科7科目〕				

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査を受験することができませんので、注意してください。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学
「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（場合の数と確率）, （図形の性質）を, 「数B」は（数列）, （ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科
『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 外国語『英語』
「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	50	50			100	100	100	700	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等						
学科等名	区分	数学	理科	外国語	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200	100	700

【医学部】（看護学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	面接
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』)	から1科目	
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)		
		理	(1) (『物基』, 『化基』, 『生基』) から2科目 (2) (『物』, 『化』, 『生』) から1科目	(1), (2)のいずれか	
		数	(『数I・数A』, 『数II・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目	から1科目	
外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科5科目（理科で(1)を選択する場合は5教科6科目）〕				

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数I・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について基礎を付さない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、(2)を選択することができませんので、注意してください。
また、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 基礎を付した科目（2科目の合計） } ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
イ. 基礎を付さない科目
- 数学について指定した科目から2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 理科①は、1科目「75点」で、2科目合わせて「150点」の配点となります。

大学入学共通テストの配点等											
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①	②			
看護学科	I 理科で(1)を選択した場合	前期日程	200	100 (1科目)	150 (1科目)		(75) (75) 150		200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。
	II 理科で(2)を選択した場合		200	100 (1科目)	150 (1科目)			150 (1科目)	200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。 理科②で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等			
学科等名	区分	面接	配点 合計
看護学科	前期日程	200	200

【医学部】（臨床心理学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜					
臨床心理学科	前期日程	国	『国語』	必須	国 数	『国語』 〔「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」〕	から1教科				
		地歴	〔「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」〕から1又は2科目					〔2教科2科目〕			
		公民	〔「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」〕から1科目						必須		
		理	(1) (「物基」, 「化基」, 「生基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」)から1科目 (3) (「物基」, 「化基」, 「生基」) から2科目並びに （「物」, 「化」, 「生」）から1科目 (4) (「物」, 「化」, 「生」)から2科目							〔1)~(4)の いずれか〕	
		数	『数Ⅰ・数A』								必須
		外	〔「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」〕 〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又は(3)を 選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕								
その他	面接	必須									
			約5倍								

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目）
- 地歴及び公民については、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1又は2科目、「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目までの成績を用います。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。（右表「大学入学共通テストの配点等」参照）
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)~(4)のいずれかを選択してください。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア、地歴、公民の第1解答科目 イ、地歴、公民の第2解答科目 ウ、理科の基礎を付した科目（2科目の合計） エ、理科の基礎を付さない科目	}	・・・・ 1科目 イ~エのうち高得点順に2科目 （ウを用いる場合は3科目）	} 3科目（ウを用いる場合は4科目）
---	---	---	--------------------

 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。
 また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『国語』 「国語総合」, 「現代文B」, 「古典B」の3科目を合わせた範囲から出題します。
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は（場合の数と確率）, （図形の性質）を、「数B」は（数列）, （ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入学共通テストの配点等															
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等			
						①	②	①	②						
臨床心理学科	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程	200	100		100	100	(50) └──┬──┘ 100	(50)	100	200	900			
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合		200	100		100	100	/	/	100	100	200	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合		200	100	100		100	100	(50) └──┬──┘ 100	(50)	/	200	900		
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(2)を選択した場合		200	100	100		100	100	/	/	100	200	900		
	Ⅴ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(3)を選択した場合		*100	*100					/	/					*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。 理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			*200	/	100	100	(50) └──┬──┘ *100	(50)	*100	200	900				
100		100													
200	/														
Ⅵ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(4)を選択した場合	200	*100	*100		100	100	/	/	*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。		
			*200	/											

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等					
学科等名	区分	国語又は数学	外国語	面接	配点合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
全コース	Aタイプ	国	『国語』 必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 （『物基・物』、『化基・化』）から1科目 から1科目
		地歴 公民	（『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』） （『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』） から1科目		
全コース	Bタイプ	数	（『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』）から1科目 （『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『情報』）から1科目	その他	総合問題 〔1教科1科目〕
		理	『物』 必須 （『化』、『生』、『地学』）から1科目		
前期日程 造形・メディアデザイン 防災・危機管理コース	Bタイプ	外	（『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』）から1科目 〔5教科7科目〕	数 理	〈造形・メディアデザインコース〉 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 （『物基・物』、『化基・化』）から1科目 から1科目
		国	『国語』 必須		
前期日程 造形・メディアデザイン 防災・危機管理コース	Bタイプ	地歴 公民	（『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』） （『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』） から1科目	その他	総合問題 〔1教科1科目〕
		数	（『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』）から1科目 （『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿・会』、『情報』）から1科目		
前期日程 造形・メディアデザイン 防災・危機管理コース	Bタイプ	理	（『物基』、『化基』、『生基』、『地学基』）から2科目又は （『物』、『化』、『生』、『地学』）から1科目	数 理	〈防災・危機管理コース〉 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 （『物基・物』、『化基・化』）から1科目 『地学基・地学』から1科目 〔1教科1科目〕
		外	（『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』）から1科目 〔5教科6科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科7科目）〕		
全コース	後期日程	国	『国語』 必須	その他	小論文
		地歴 公民	（『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』） （『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』） から1科目		
全コース	後期日程	数	（『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』）から1科目 （『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『情報』）から1科目	その他	小論文
		理	（『物』、『化』、『生』、『地学』）から2科目		
全コース	後期日程	外	（『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』）から1科目 〔5教科7科目〕	その他	小論文
		国	『国語』 必須		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目）
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 基礎を付した科目（2科目の合計）
イ. 基礎を付さない科目 } ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
また、Bタイプの試験においては、理科で指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目）
- 数学
Aタイプの試験においては、『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数A』、『数B』の5科目を合わせた範囲から出題します。
Bタイプの試験においては、『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数A』、『数B』の4科目を合わせた範囲から出題します。
なお、いずれのタイプの試験においても、『数A』は（場合の数と確率）、（図形の性質）を、『数B』は（数列）、（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科
『物基・物』は、『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は、『地学基礎』と『地学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 総合問題
総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。
- 小論文
小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価します。特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の 利用方法等	
					①	②	①	②				
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	200	100 (1科目)	100	100	100	100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	造形・メディアデザインコース		Bタイプ	200	100 (1科目)	100	100	(50) (50) 100	100	200	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 理科②で基礎を伏さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	防災・危機管理コース	Bタイプ	200	100 (1科目)	100	100	100	100	200	800	理科で基礎を付さない科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、高い方の成績を用います。	
	全コース	後期日程		200	100 (1科目)	100	100	100	100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

学科等名	区分	数学	理科			総合 問題	小論文	配点 合計
			物理	化学	地学			
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	*200	*200	*200		200
	造形・メディアデザインコース		Bタイプ	*200	*200	*200	*200	200
	防災・危機管理コース	Bタイプ	*200	*200	*200	*200	200	
	全コース	後期日程					100	100

【農学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
応用生物 科学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』, 『化基・化』, 『生基・生』から1科目) [1教科1科目]
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』)		
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)		
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目		
		理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から2科目		
	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			
	後期日程	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目	/	/
		理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目		
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔3教科4科目〕		

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- (後期日程のみ)理科について基礎を付さない科目から2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基・物』は, 「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は, 「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は, 「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
応用生物科学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100	/	/	100	100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程	/	/	100	100	/	/	200 (1科目)		200	600	理科②で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等				
学科等名	区分	数学	理科	配点 合計
応用生物科学科	前期日程	*200	*200	200
	後期日程	/	/	/

〔4〕 実技試験（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

<p>幼児教育コース，小学校教育コースで実技試験を受験する者及び中学校教育コースでC系を受験する者</p>																									
音 楽	<p>実技試験（音楽）を受験する者は，下記の試験項目のうち（1）は必ず受験し，それに加えて（2）から（4）のうちいずれか1つを選択し，合わせて計2項目を受験してください。</p> <p>（1） ピアノ：モーツァルト，ベートーヴェンのソナタの中より，第1楽章又は終楽章から任意の1楽章を演奏する（ただし，緩徐楽章を除く。）。</p> <p>（2） 新曲視唱及び旋律聴音</p> <p>（3） 歌曲：以下の6曲（ア～カ）の中から任意の1曲を選び，原語で演奏する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア. Caro mio ben</td> <td style="width: 20%;">Giordani.G</td> <td style="width: 10%;">・・・</td> <td style="width: 15%;">Es dur</td> </tr> <tr> <td>イ. Caro mio ben</td> <td>Giordani.G</td> <td>・・・</td> <td>Des dur</td> </tr> <tr> <td>ウ. Caro mio ben</td> <td>Giordani.G</td> <td>・・・</td> <td>上記以外の調</td> </tr> <tr> <td>エ. 早春賦（1，2番を歌唱）</td> <td>中田 章</td> <td>・・・</td> <td>F dur</td> </tr> <tr> <td>オ. 早春賦（1，2番を歌唱）</td> <td>中田 章</td> <td>・・・</td> <td>Es dur</td> </tr> <tr> <td>カ. 早春賦（1，2番を歌唱）</td> <td>中田 章</td> <td>・・・</td> <td>上記以外の調</td> </tr> </table> <p>なお，ウ・カを希望する者は，<u>移調楽譜1部（伴奏譜を含む。）</u>を入学願書に添えて提出してください。</p> <p>（4） 管弦打楽器：任意の1曲を無伴奏で演奏する。</p> <p>備考 1. 演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。 2. 管弦打楽器は，各自持参してください。</p>	ア. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	Es dur	イ. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	Des dur	ウ. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	上記以外の調	エ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	F dur	オ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	Es dur	カ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	上記以外の調
ア. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	Es dur																						
イ. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	Des dur																						
ウ. Caro mio ben	Giordani.G	・・・	上記以外の調																						
エ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	F dur																						
オ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	Es dur																						
カ. 早春賦（1，2番を歌唱）	中田 章	・・・	上記以外の調																						
美 術	<p>実技試験（美術）を受験する者は，下記の試験項目を受験してください。</p> <p>◆鉛筆静物デッサン （モチーフは3つ，用紙は四つ切り画用紙，制作時間は3時間30分）</p> <p>備考 1. 鉛筆，消しゴム（練り消しゴムを含む），羽ぼうき（又はダスティングブラシ），カッターナイフ，デッサンスケール，はかり棒など試験に必要な用具は各自で持参してください。 2. 用紙，画板，画板用クリップは用意します。</p>																								
保健体育	<p>実技試験（保健体育）を受験する者は，下記（1），（2）を受験してください。</p> <p>（1） 基礎運動能力テスト3種目 （ジグザグ走，シャトルスタミナテスト，立ち5段跳び）</p> <p>（2） 総合運動能力テスト4種目 （陸上競技，器械運動，バレーボール，バスケットボール）</p> <p>備考 1. 十分に運動のできる服装を用意してください。 2. 全ての実技試験を体育館で行います。体育館シューズを持参してください。 3. 陸上競技はハードル走，器械運動はマット運動を行います。</p>																								

〔5〕 小論文

実施学部名	小論文の概要
教育学部	<p>小論文は、大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。すなわち、単なる感想ではなく、与えられた素材に基づき構成される客観的な事象について、所定の条件のもとに自らの論旨を定めて論述することを要求するものです。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。</p> <p>なお、評価に際しては、理解力、着想力、思考力及び文章表現上の諸能力などを総合的に評価します。</p>
法学部	<p>小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに、学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について、広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。</p>
経済学部	<p>小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く経済・社会等の分野から選ばれます。</p>
創造工学部	<p>小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。</p>

〔6〕 総合問題

実施学部名	総合問題の概要
創造工学部	<p>総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。</p>

〔7〕 面接

実施学部名	面接の概要
医学部	<p>医学科における面接は、医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。</p> <p>地域枠（一般） 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び個別学力検査の実施教科・科目等については、一般選抜（前期日程）と同じです。それに加え、香川県による面接があります（募集については調整中です）。</p>
	<p>看護学科における面接は、将来、看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。</p>
	<p>臨床心理学科における面接は、心理援助者としての適性をみるために行います。</p>